

## サークル紹介

シェーブアップグループ!

### フラワー会

#### 小川株式会社

今、翔んでる女性というのはこんなタイプの彼女達というのであろうか……。小川(株)の女性だけでユニークなサークル活動をしている、フラワー会のリーダーを務めるスポーティな新保さんと、優しい装いの桝折さんのお二人に話していただく。

現在グループのメンバーは約30人位で、会の年間の主な行事は、4月に新人の歓迎会、勤続3年以上の人達の送別会、12月には忘年会やクリスマスパーティー、そしてメンバーの人達の慶弔、お見舞等、会の名称の通り話に花が咲くと思ったのであるが、グループの会合の際の話題はもっぱら、①男性、②上司、③お互いに注意しあうこと、と意外?に真面目な答がかえってきた。

会の催しに当っては、幹事役のお二人には、多くの人に参加してもらうための予定のやりくりとか、案内文章の作成とか、慣れない挨拶をさせられるとか、いろいろ勉強になる苦労があるそうですが、それも若さで一生懸命こなしている由。女性だけで、しかも大勢であるため赤い気炎がややもするとあがりそうであるが、決してウーマン・リブを目指すウーマンパワーではなく、会の催しを通じて、人間対人間として相互になんでも相談しあえる仲間、そして女性同士の和をはかりつつ、会社に貢献していきたいとの事。その点、店長さんの方からも、会に対する激励や希望があって、大いにグループの活動に期待が寄せられるそうである。

今後は、ボーリングやハイキング等、スポーツ的な企画をして、メンバーそれぞれがシェーブ・アップをして心身共に健やかさを目指す会にしたいと、抱負を語ってくれた。



人格形成を目指す

### 謡曲会

#### 丸西食品工業株式会社

さすが謡曲で鍛えた洪い低音で、会の中心的存在である西谷専務さんに会の歴史や活動について語っていただく。先ず謡曲を始めた発端は、昭和29年に先代社長の趣味であったのを、若い人達に落ち着きのある人格形成にも役立つということで、社員を中心に取引先関係の人達14~15名で、本人の好き嫌いにかかわらずスタートさせたそうである。

当初から、重要無形文化財になっておられる、山田太佐久先生の指導のもと、毎週一回、社内で稽古を続けておられるそうであるが、25年間も継続させるということは並々ならぬ意志の努力と、自分から積極的な気持ちになって面白味がつくまでに、最低3年はかかり、7段階もある音程を誦いこなすのに10年はかかるだろうという謡曲の難しさを考えると、何う話の内容にも重み加わってくる。

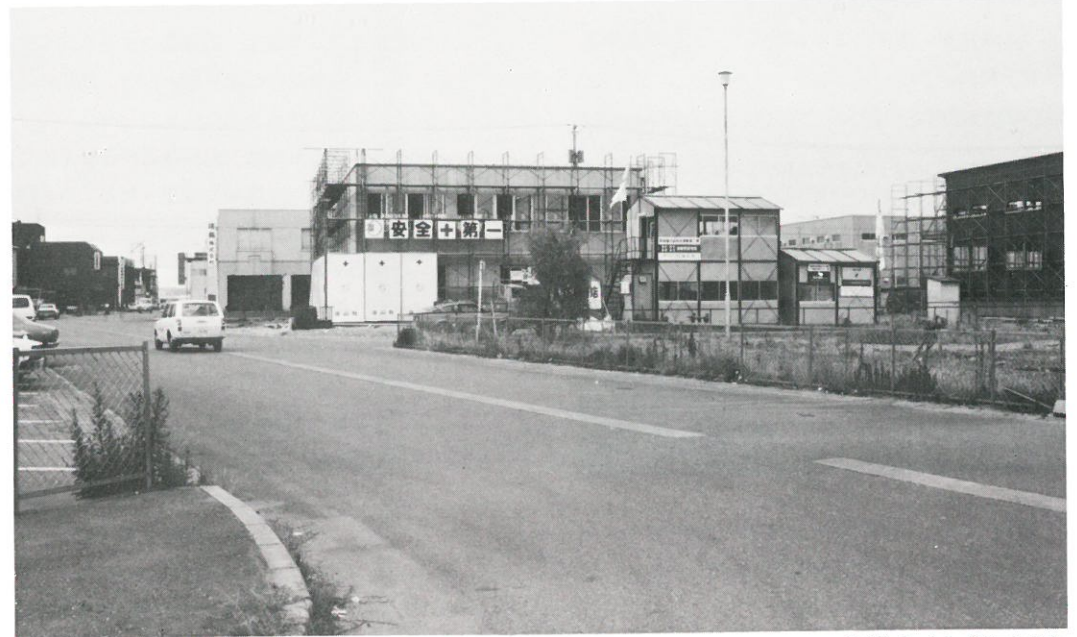


謡曲の難しさは、節まわしというより、ストーリーに出てくる人物の状態に応じた人間の心に気分的になりきるところにあるという。雑念をなくし、ヨーガの呼吸法にも似た発声で、吸い込んだ息を除々に、一文句のうちに出していくことが、健康のためにも良いと言われる。

発足当初から今日まで一緒に続けてこられた工場長さん共々、今では囑託になられ、先代の教えの通り、若い社員の人格育成と社員同志の和を考えつつ、これからも大いに稽古に励み、続けていきたいとのことである。専務さん自らの趣味としては、他人に聞かすというよりも自らに聞かす気持で、精神面の向上に役立ったと思うと語っておられた。

## 協同組合 金沢問屋センター

第17号 1980年8月発行  
協同組合 金沢問屋センター  
発行者 小川 甚次郎  
金沢市問屋町1丁目  
電話 37-8585



建設すすむ第二団地

### — 共同事業の強力な推進を求めて —



内外共に多事多難と予想される激動の80年代、経済状況も世界的に低成長期に突入し、石油事情の不安要因、国際為替相場の乱調、国際的なインフレ現象の増進、異常気象による世界的な農業生産物相場の高騰等々、我国を巡る経済的環境は正に予断を許さないものがあります。組合員の皆様もかかる困難な経済状況の中で、夫々の企業を防衛し更に発展させる為、日夜非常な努力を続けて居られる事と存じます。

私達の協同組合金沢問屋センターも、設立以来13年、今日迄當々と発展を遂げて来た訳ではありますが、今ここに漸く一つの転機を求めべき時期が到来したと見るべきではないでしょうか。即ち外的には今後変動が予想される80年代に於ける流通機構の改変に着実に対処して行く為にも、又内的には当組合の財源であった余剰土地資産も残り僅かを余すのみとなり、一方では又中小企業振興事業団よりの助成金の完済時期も近くなっている折柄、今後の組合の運営に対し、組合員全体として改めて一考を要する時期に来ていると思われまます。

かかる観点から、今後の健全なる組合活動の方向づけを求める事を目的とし、皆様の卒直かつ建設的な御意見を得るべく、過日「今後の組合運営に関するアンケート調査」を行い御協力を得ました事は御高承の如くであります。このアンケート調査の結果を分析し、多数の御意見を集約化した上で、組合員個々のメリットにも貢献し、かつ当組合自体の収益の向上にも寄与する様な共同事業を選び出し、組織としてのメリットをフルに発揮すべく、強力に推進する事が必要ではないかと思われまます。勿論この為には組合員相互の協同組合意識、連帯意識の一層の高揚を求め、組合の精神的基盤を確立する事がその前提となる事は論をまたないものであります。

その共同事業の一つとして、かねてより近代化研究会より提言されていた、新会館ビル(多目的ビル)の建設の問題についても、その実現を期して宗広副理事長を委員長とする特別委員会を発足させ、真剣に検討を重ね、鋭意努力中でありまます。

企画開発委員会委員長 小川 三郎



# 第17回通常総会開催

当組合の第17回通常総会は、去る5月20日午後2時より、問屋町会館2階ホールで開催された。

小川理事長挨拶のあと、議案審議に入り、全議案原案通り承認された。



1. 開催日時 昭和55年5月26日 午後2時
2. 開催場所 金沢問屋町会館 2階ホール
3. 組合員総数 159人
4. 本人出席 76人
5. 委任状出席 47人
6. 議長 大沢珪人
7. 議案審議状況

議長は出席定数が過半数を超えているので、本通常総会は成立する旨報告後、議案の審議に入る。

(1)議長は第1号議案 昭和54年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、財産目録の承認及び監査報告の件、第2号議案 利益金処理(案)承認の件を一括上提し、事務局に朗読を求めた後、議場にはかったところ、全員異議なく原案どおり承認した。

(2)議長は第3号議案 昭和55年度事業計画(案)承認の件を上提、事務局に朗読を求めた後、議場にはかったところ、全員異議なく原案どおり承認した。

(3)議長は第4号議案 昭和55年度収支予算(案)並びに賦課金の賦課徴収方法承認の件、第5号議案 昭和55年度借入金の最高限度額承認の件を一括上提し、事務局に朗読を求めた後、議場

にはかったところ、全員異議なく原案どおり承認した。

(4)議長は第6号議案 組合員の脱退承認の件を上提し、事務局に朗読を求めた後、議場にはかったところ、全員異議なく承認した。

(5)議長は第7号議案 監事改選の件を上提し、選考方法について議場にはかったところ、議長一任の声あり、議長は候補者として、

岡田 寛、 須田忠一(留任)

原 隆三(新任)

を公表、議場にはかったところ、全員異議なく承認した。

8. 以上で議案の審議を終了した。

9. 来賓出席者 中西石川県知事  
江川金沢市長  
油谷金沢市商工観光課長  
三島石川県商工課係長  
樋田金沢商工会議所専務理事  
本谷石川県中央会専務理事  
貝田商工中金金沢支店長  
北 北国銀行問屋町支店長  
田中北陸銀行金沢問屋町支店長



# 問屋町交通安全対策協議会総会開催

問屋町交通安全対策協議会(会長井上三郎)は去る6月9日、問屋町会館2階ホールで第12回通常総会を開催した。

54年度実施した重点事業は、団地内交通施設の充実をめざし、事故多発地点に、路面上三角マーク設置を関係当局へ要望し、又問屋町2丁目法務局交差点で歩道上に乗りあげる事故が発生した為、歩行者を保護する為ガードレール設置を金沢市へ陳情し、設置完了した。

55年度事業計画は、運転者講習会を積極的に開催し、運転者のモラル向上に特に重点を置き、交通事故半減をめざすこととなり、全案件を可決承認した。

### ■優良運転者表彰

- 5年以上 北條直三郎 山村(株)  
" 川北 満夫 北陸通信工業(株)  
" 天方 博仁 北陸通信工業(株)



## 問屋町地内事故状況

(問屋町派出所調べ)

### 事故発生形態別表

種別 形態 年度	人 身				物 損			
	出 合 頭	側 面	そ の 他	計	出 合 頭	側 面	そ の 他	計
51年	12	5	9	26	10	4	9	23
52年	7	3	4	14	4	1	4	9
53年	7	6	6	19	0	5	2	7
54年	3	3	6	12	6	5	1	12

### 問屋団地内の事故件数及び 従業員の関係する事故件数

年度	事故種別	発 生 件 数	従業員 の 関係 する 加 害 者 数	従業員 の 関係 する 被 害 者 数
51年	人身事故	26	3	4
	物損事故	23	6	8
	合 計	49	9	12
52年	人身事故	14	5	7
	物損事故	9	1	3
	合 計	23	6	10
53年	人身事故	19	2	6
	物損事故	7	4	2
	合 計	26	6	8
54年	人身事故	12	2	1
	物損事故	12	2	1
	合 計	24	4	2

### 事故多発場所

年度	場 所
51年	多田与(株)裏 派出所前
52年	北国銀行前 織田寝具(株)前
53年	(株)コシハラ交差点
54年	織田寝具(株)前 石川トヨペット(株)前 東口交差点

### グリーンカレンダー回収状況

内容	年度別			
	51年	52年	53年	54年
記 入 良	67	68	81	67
記 入 不 良	27	30	19	31
未 回 収	18	24	30	31
内 交 通 違 反	144	176	110	99
物 損 事 故	151	146	131	103
人 身 事 故	25	23	26	10
無事故無違反	14	10	20	15

# セールスマンセミナーの開催

—全受講者の瞳、講師に集中—



ことし1月新入社員教育に関するアンケート調査を実施の際、本年度事業計画の中へ営業社員研修を提案のため、既に手元へ届いていたJMCによるセールスマンセミナーの資料にもとづき、受講希望の有無、時期、何名ほど受講させられるか。「ルートセールスマンの得意先深耕法」「勇猛果敢な開拓精神と新規開拓技術の具体化」「顧客奪取に勝てるセールスマンと燃える軍団づくり」の三種の中、いずれを希望されるかを問うたところ、24社より受講希望の回答があり、実施月は6月、7月がもっとも多く、およそ65名の受講者があることを把握できた。そこで3月の労務委員会に計り、6月、7月の2回に分けて実施することに決定した。5月上旬に全組合員へ案内し、同時に6月、7月以外の希望会社を訪問し、時期決定の説明とご協力を依頼した。締切った結果、6月の受講は19社49名。7月が19社45名という予想を超えた申し込みがあり、第1回を6月6日、7日。第2回を7月16日、17日午前9時より午後4時までJMC代表・原田透氏を講師に迎え、会館ホールにおいて第1回当日の受講者47名。第2回当日の受講者44名で「ルートセールスマンの得意先深耕法」をテーマとして実施した。

1日の実講義時間は5時間40分。2回とも1人として油断する者なく、長時間の講義に全員の瞳は講師に集中聴講し、講師も受講者の真剣な態度に感応し、講義が俗という波に乗った感じであった。紙面の都合上概要は一部分ではあるが次のようであった。

ルートセールスの本質は得意先とともに、最終消費者、使用者に商品を販売することにある。その活動の重点は得意先への売り込みより、得意先の販売活動の指導、援助におこななければならぬ。販売店援助政策、ディーラーの経営のレベルアップを図り、ディーラー販売増大のための直接、間接的指導援助を行うことにより、自社の販売増大を招くためのものである。販売差別化政策の主体として位置づけられるものであり、押し込み販売の後始末のため売り込みがための手段と考えるべきでない。

(1)惰性的セールスからの脱出。ルートセールスマンの情性、ご用聞販売に情し易い原因。

- 特別の努力を払わなくても、ある程度の売上がある。
- 売上高の如何は担当地域得意先等の大小。良否に支配

されると考える。

- 売れないのは自分のせいではなく、会社の政策、商品力、価格、サービス等が他社と比べて不利だからだと考える。
- (2)競争者の政策、商品の品質等の研究不足。綿密な訪問計画がたてられていない。訪問軒数が少なく、予定通りにいかない。原因として訪問計画事前準備の不十分。取引先と親しい処、顔なじみの処が多いので滞在時間が長くなる。訪問先で手伝いをさせられる。繰返しが多いため、つい怠り心がおこる。交通が混雑してきた。押しつけ販売に情し易い。無理に仕入れを懇願する事により自己の販売割当を消化させようとする。一方的に商品を送りつける。必要性を感じさせぬまま、強引に置き逃げ販売をする。訪問回数にムラがある。口うるさい取引先から逃避しようとする。行き易い取引先には足しげく通う。計画をたてたがらない。机に向って計画をたてたり書いたりすることに耐えられぬ。顔なじみという安心感が安易に走らせる。積極的に売り込まなくても追加注文である程度売上があがる。こちらが計画をたてても相手があることだから——という大義名分に妥協してしまう。ではその惰性から脱するためには、また計画的行動を行うためにはどうしたらよいか。(以下略)

## ミステリー列車発車



組合では、社員とその家族の親睦を図ることを目的に国鉄の後援のもとに、ミステリー列車の旅を計画していたが、7月27日(日)、1,150名の参加者を乗せ、金沢駅を出発、北陸本線を一路南下した。

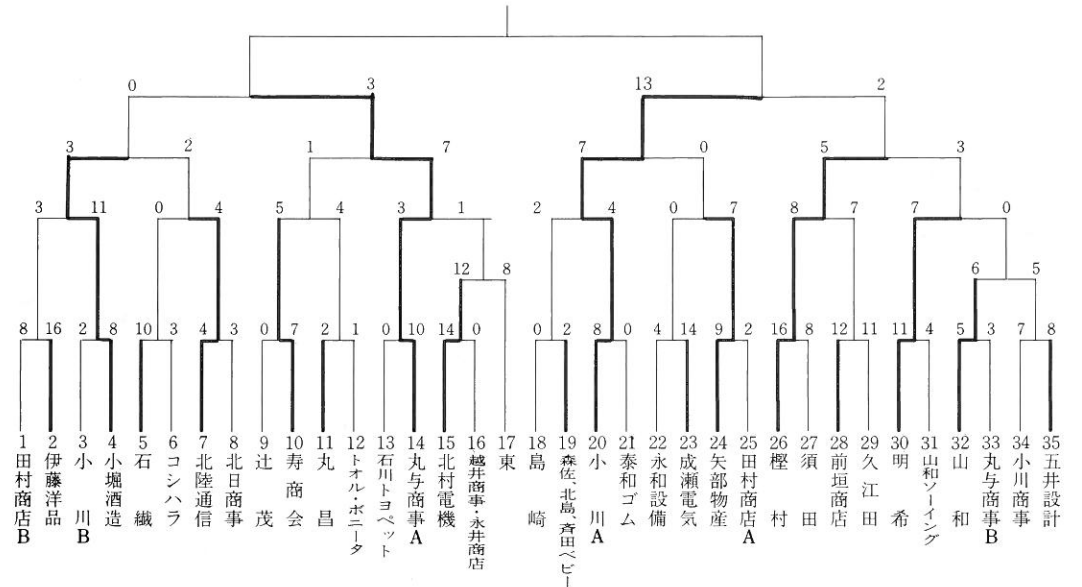
午前8時から金沢駅ホームで発車式が行われ、小林金沢駅長と小川理事長が「親子の触れ合いをより一層深め楽しい1日を過ぎて下さい」と挨拶し、児童代表5名でテープカット、12両編成のミステリー列車は一路南下し秘密の目的地敦賀へ到着、同駅で高木敦賀市長より歓迎の挨拶、花束贈呈があった。

その後一行は敦賀港より1万6千トンの日本一大きいフェリーに乗船して約4時間、日本海を回遊し、船の旅を楽しんだ。車中ではチビっ子のど自慢大会、クイズ大会が催され、子供達は楽しい雰囲気の中でお互いの友情を深め、午後7時無事帰着しました。



7月28日 第13回納涼盆踊り大会開催

## 第13回商社対抗野球大会途中経過



## 第10回麻雀大会開催

第10回麻雀大会は、6月29日(日)正午より、問屋町会館2階ホールを会場に104名の参加により開催された。

今年から個人戦のほか団体戦もとり入れ、熱戦をくりひろげ団体戦は3位迄、個人戦は20位迄入賞となった。

- 団体戦 優勝 川上商店
- 2位 北日商事(株)
- 3位 (株)ポニータ



○個人戦 (上位10名)

- 優勝 川上商店 吉田選手
- 2位 山和(株) 鳴尾選手
- 3位 丸宮商工(株) 小堀選手
- 4位 エンパイヤ自動車(株) 都築選手
- 5位 北陸通信工業(株) 長田選手
- 6位 北日商事(株) 北野選手
- 7位 (株)松本紙店 松本選手
- 8位 (株)堀川商店 堀川選手
- 9位 北陸通信工業(株) 松田選手
- 10位 (株)ポニータ 伊登選手